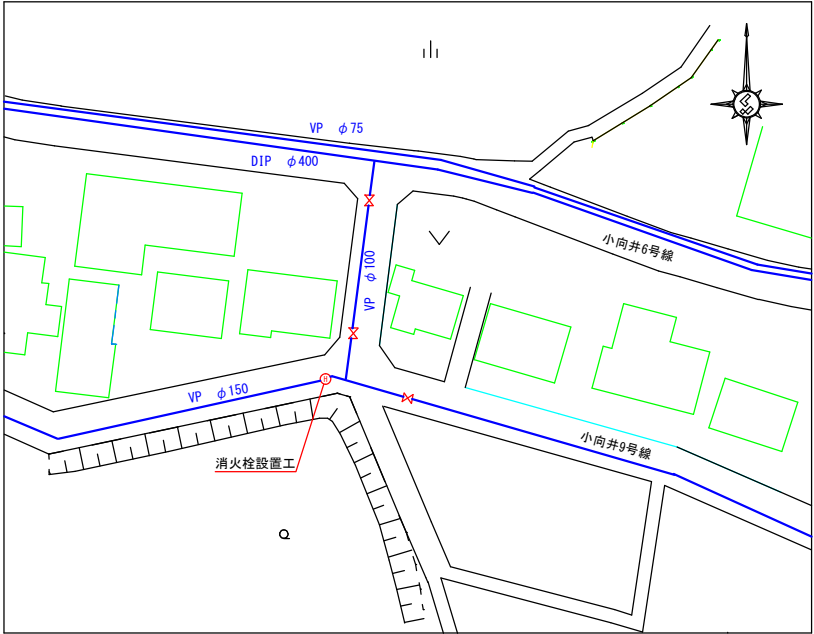


工事名	令和7年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	位 置 図		
縮 尺	1/50,000	図面番号	1
志摩市上下水道部			

平面図

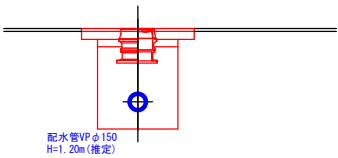
S=Non

阿児町鵜方地内



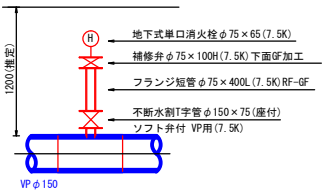
横断図

S=Non



管割図

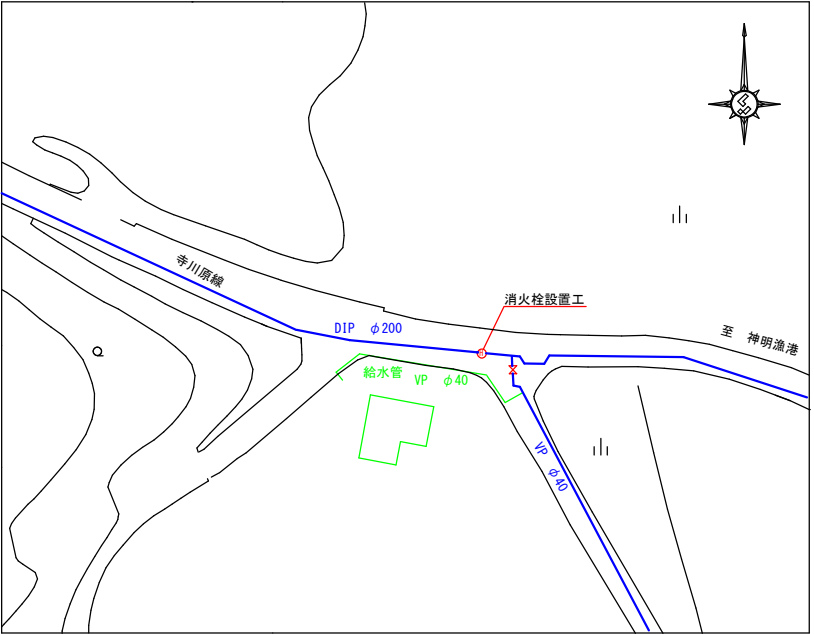
S=Non



平面図

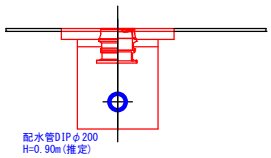
S=Non

阿児町神明地内



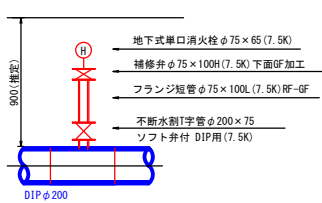
横断図

S=Non



管割図

S=Non

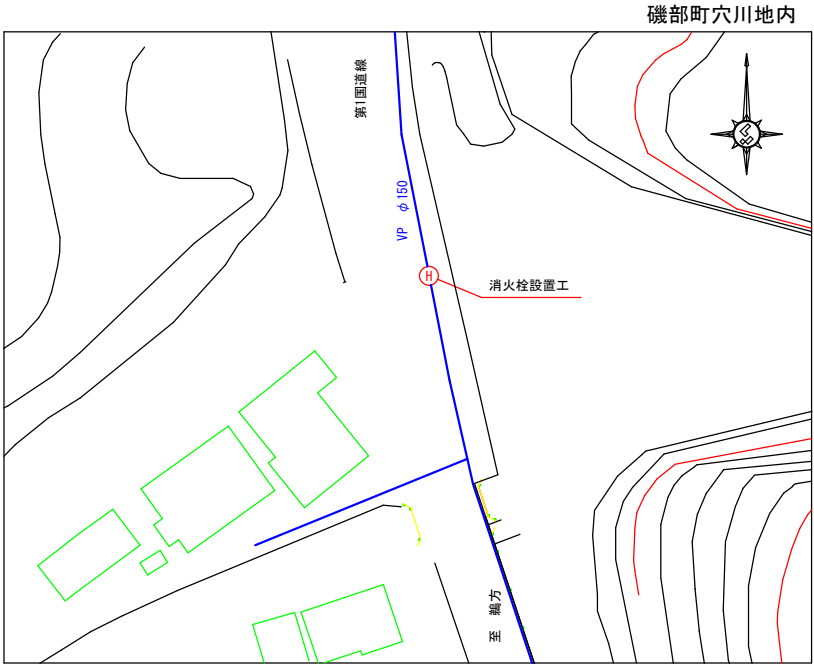


*各埋設管の位置及び深さは想定値であるため、試掘にて確認すること。

工事名	令和7年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	計画平面図 (1)		
縮 尺	図 示	図面番号	2
志摩市上下水道部			

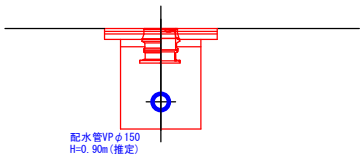
平面図

S=Non



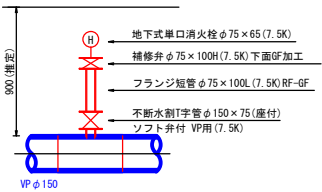
横断図

S=Non



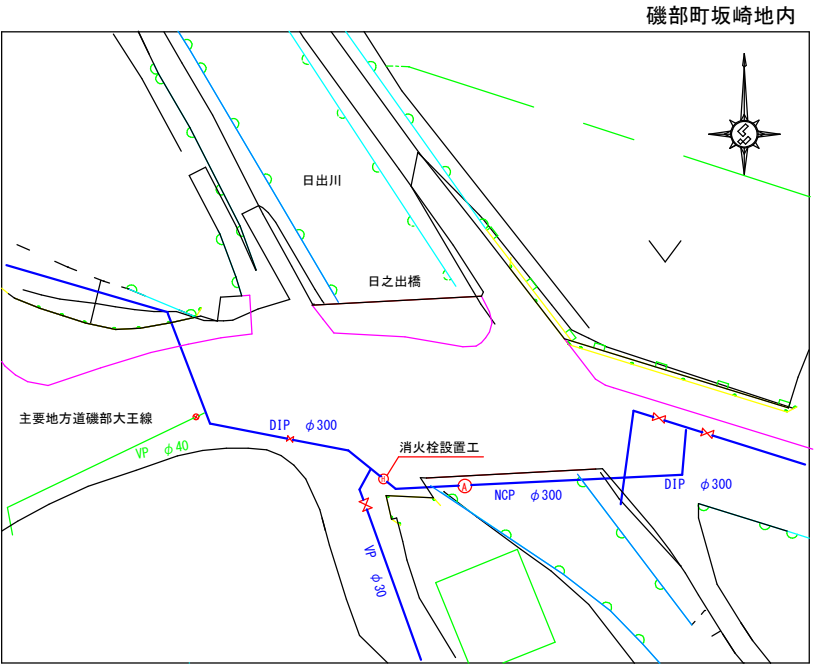
管割図

S=Non



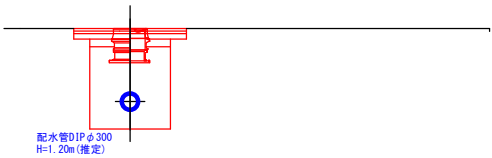
平面図

S=Non



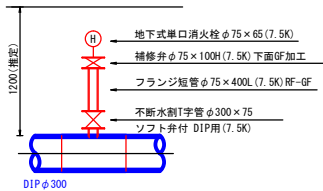
横断図

S=Non



管割図

S=Non



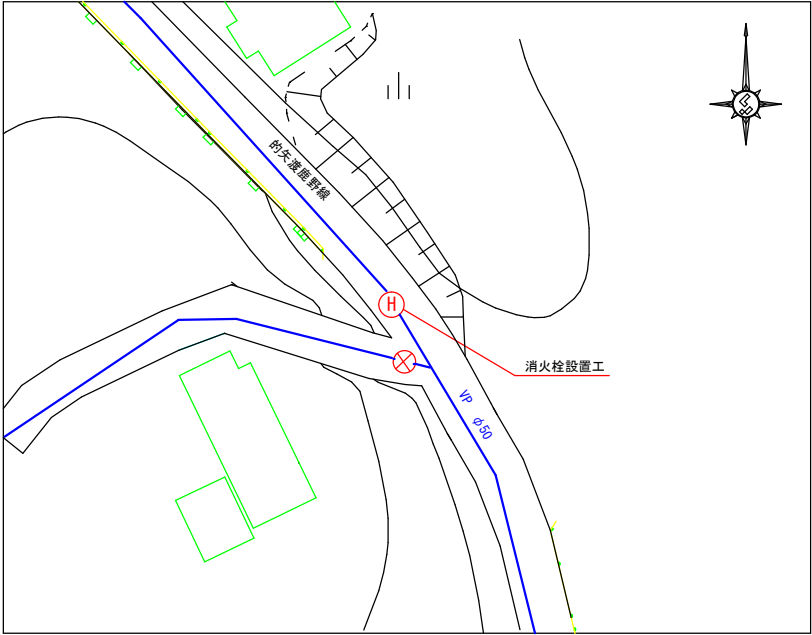
*各埋設管の位置及び深さは想定値であるため、試掘にて確認すること。

工事名	令和7年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・礪部町 各 地内		
図面の種類	計画平面図(2)		
縮尺	図示	図面番号	3
志摩市上下水道部			

平面図

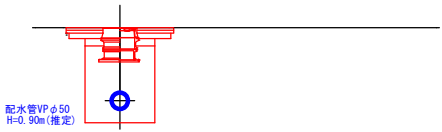
S=Non

磯部町渡鹿野地内



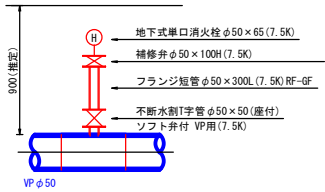
横断図

S=Non



管割図

S=Non



*各埋設管の位置及び深さは想定値であるため、試掘にて確認すること。

工事名	令和7年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	計画平面図 (3)		
縮 尺	図 示	図面番号	4
志摩市上下水道部			

土工標準断面図(1)
S=1:50

不断水分岐工

試掘工

阿児町鵜方

阿児町神明

阿児町鵜方

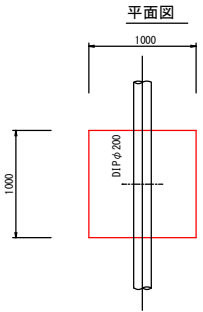
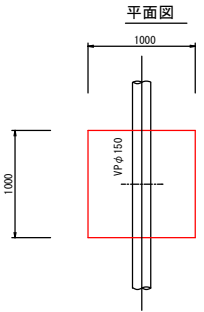
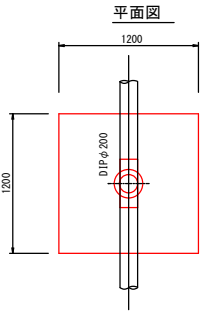
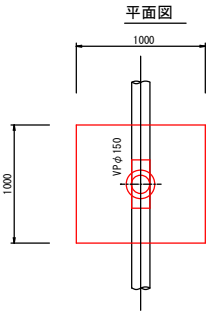
阿児町神明

平面図

平面図

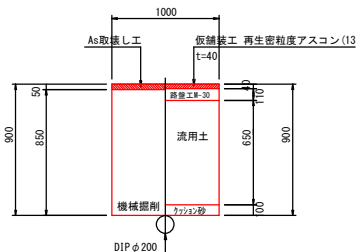
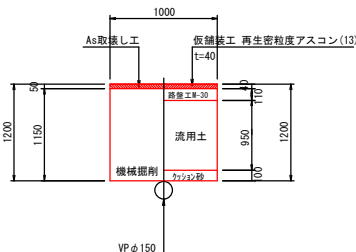
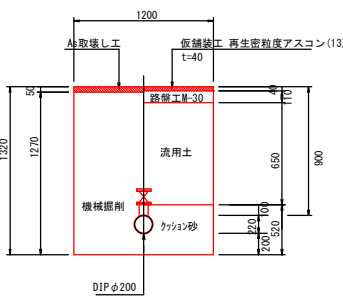
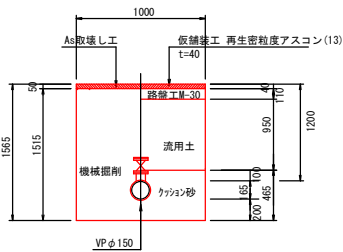
平面図

平面図



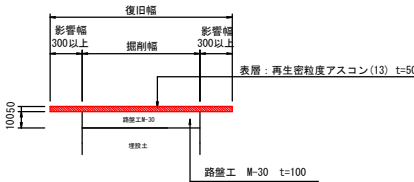
断面図

断面図



路面復旧標準図
S=1:50

阿児町鵜方
阿児町神明
(市道小向井9号線 W≧5.5m)
(市道寺川原線 W≧5.5m)



工事名	令和7年度 消火栓設置工事
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内
図面の種類	土工標準図(1)
縮尺	図示 図面番号 5
志摩市上下水道部	

土工標準断面図(2)

S=1:50

不断水分歧工

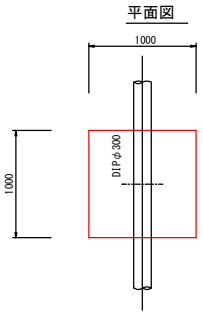
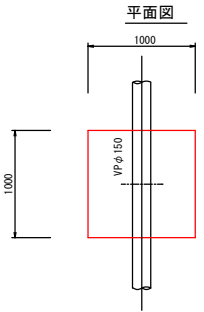
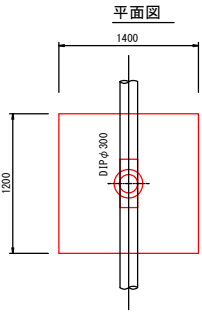
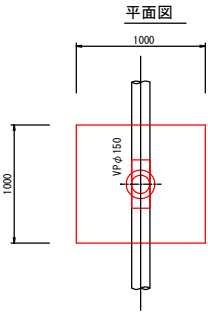
試掘工

磯部町穴川

磯部町坂崎

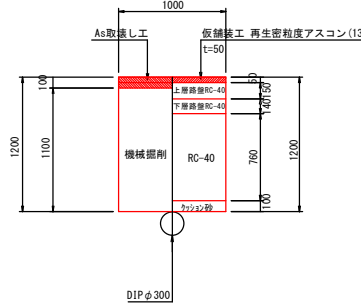
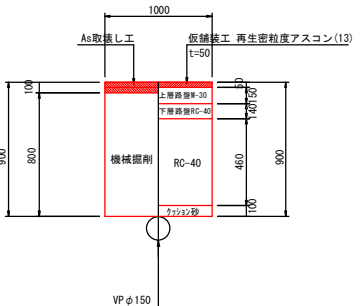
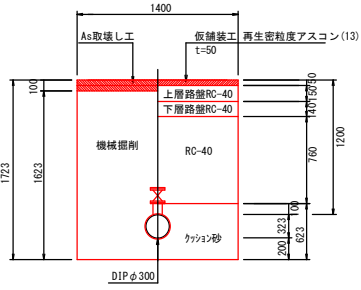
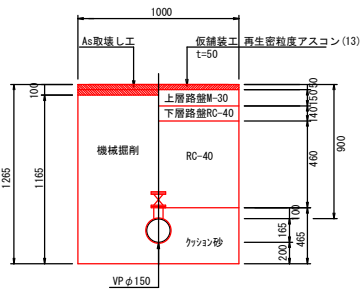
磯部町穴川

磯部町坂崎



断面図

断面図



路面復旧標準図

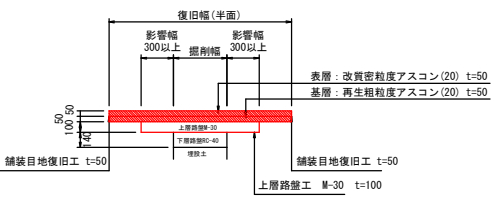
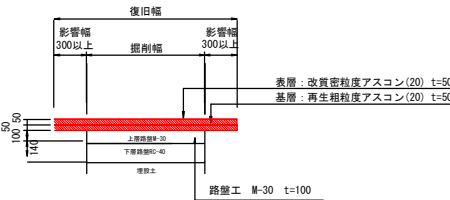
S=1:50

磯部町穴川

(市道第1国道線W≧5.5m)

磯部町坂崎

(県道磯部大王線)



*縦断方向の復旧延長は3m以上とする。

工事名	令和7年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	土工標準図(2)		
縮尺	図示	図面番号	6
志摩市上下水道部			

土工標準断面図(3)

S=1:50

不断水分岐工

試掘工

路面復旧標準図

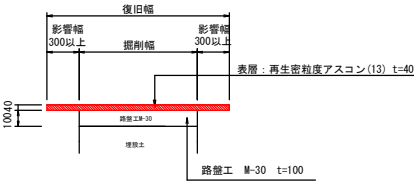
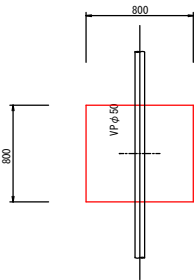
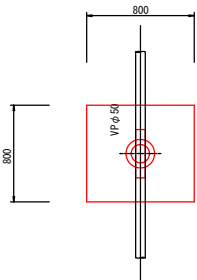
S=1:50

磯部町渡鹿野

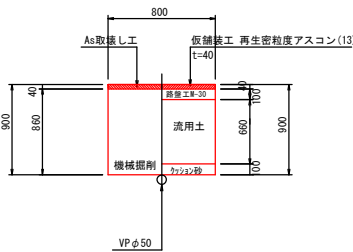
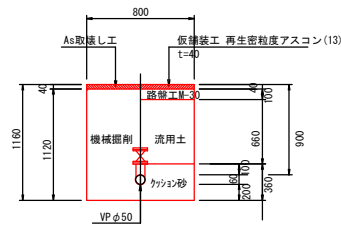
磯部町渡鹿野

磯部町渡鹿野
(市道の矢渡鹿野線<5.5m)

平面図



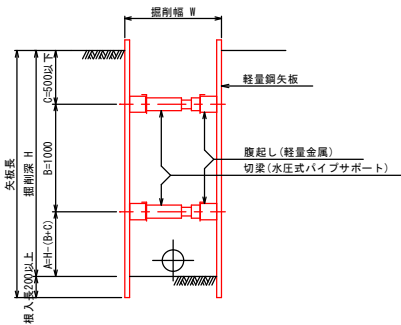
断面図



土工標準図

S=NO SCALE

断面図



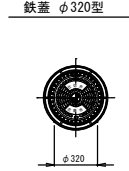
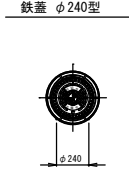
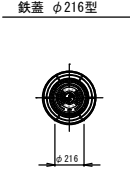
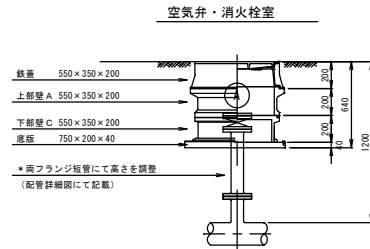
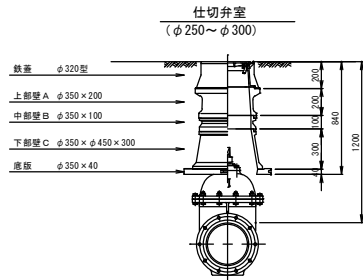
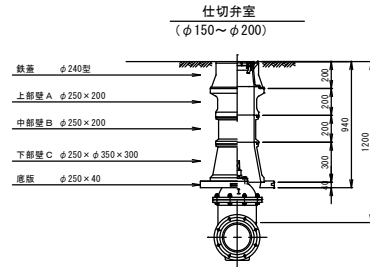
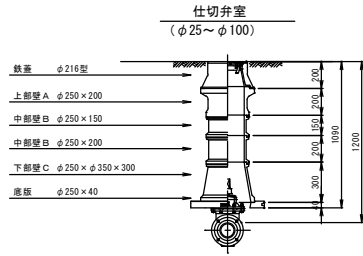
掘削深	矢板長	段数
1.5m<H≤1.8m	2.0m	1
1.8m<H≤2.0m	2.5m	1
2.0m<H≤2.3m	2.5m	2
2.3m<H≤2.8m	3.0m	2
2.8m<H≤3.3m	3.5m	2
3.3m<H≤3.5m	4.0m	2
3.5m<H≤3.8m	4.0m	3

※腹起しの設置位置については現場状況を確認した上で適切な箇所に設置すること。

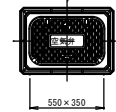
工事名	令和7年度 消火栓設置工事
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内
図面の種類	土工標準図(3)
縮尺	図示 図面番号 7
志摩市上下水道部	

弁室据付標準図

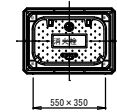
S=1:20



空気弁鉄蓋 550×350型

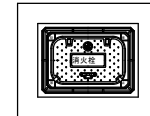


消火栓鉄蓋 550×350型



消火栓蓋はカラー塗装とする。

区画線(消火栓周)



消火栓周りに区画線(厚15cm:黄)を希設すること。

仕切弁室 (φ25～φ100)

H	鉄蓋	上部壁 A		中部壁 B				下部壁 C		下部壁 A C		底板
	φ216型	φ250×150	φ250×200	φ250×100	φ250×150	φ250×200	φ250×300	φ250×φ350×200	φ250×φ350×300	φ250×φ350×150	φ250×φ350×300	φ250×40
500	●○									●○		●○
600	●○										●○	●○
700	●○	○	●					●○			●○	●○
800	●○	○	●						●○			●○
900	●○	○	●	●○					●○			●○
1000	●○		●○		○	●			●○			●○
1200	●○		●○	●	○	○	●		●○			●○
1300	●○		●○	○	○	●	●○		●○			●○

●印: φ75 ○印: φ100

仕切弁室 (φ150～φ200)

H	鉄蓋	上部壁 A		中部壁 B				下部壁 C		下部壁 A C		底板
	φ240型	φ250×150	φ250×200	φ250×100	φ250×150	φ250×200	φ250×300	φ250×φ350×200	φ250×φ350×300	φ250×φ350×150	φ250×φ350×300	φ250×40
600	●○									●○		●○
700	●○										●○	●○
800	●○		●					●			●○	●○
900	●○	○	●						●○			●○
1000	●○		●○	●					●○			●○
1200	●○		●○		○	●			●○			●○

●印: φ150 ○印: φ200

仕切弁室 (φ250～φ300)

H	鉄蓋	上部壁 A	中部壁 B				下部壁 C		下部壁 A C		底板
	φ320型	φ350×150	φ350×200	φ350×100	φ350×150	φ350×200	φ350×φ450×200	φ350×φ450×300	φ350×φ450×150	φ350×φ450×300	φ350×40
700	●○								●○		●○
800	●○								○	●	●○
900	●○	●					●			○	●○
1000	●○	○	○				○	●			●○
1100	●○	●	○	●				●○			●○
1200	●○	●	○	○		●		●○			●○
1300	●○	●	○		○	●		●○			●○

●印: φ250 ○印: φ300

空気弁室 (単口用)

H	鉄蓋	調整リング	上部壁 A	中部壁 B		下部壁 C			下部壁 A C	底板
	550×350×200	550×350×50	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×400	550×350×200	750×200×40
700	○	○	○			○				○
800～	○		○				○			○

消火栓室 (単口用)

H	鉄蓋	調整リング	上部壁 A	中部壁 B		下部壁 C			下部壁 A C	底板
	550×350×200	550×350×50	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×400	550×350×200	750×200×40
700	○	○	○			○				○
800～	○		○				○			○

注: 土盛りH=800以上の消火栓・空気弁室については、両フランジ短管にて消火栓・空気弁(補修弁含む)の設置高を調整するため、弁室の高さ(高さ)は補修弁の下あたりになるように調整すること。

注: 標準図の組合せは標準であり、設置する仕切弁のボルトナットが見えるように調整リング等で調整すること。
鉄蓋は、市名・市章入りとする。
レジンコンクリート製とする。

(参考)

工事名	令和7年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	弁室据付標準図		
縮 尺	図 示	図面番号	8
志摩市上下水道部			